

「プロジェクト WET エducator 養成講座」参加者募集

プロジェクト WET の WET は「Water Education for Teachers : 教師のための水に関する教育プロジェクト」の略であり、教育活動を通じて、水や水資源に対する認識・知識・理解を深め責任感を促すことを目標として開発された「水」に関する教育プログラムです。

詳細は→プロジェクト WET 公式 HP <http://www.kasen.or.jp/wet/index.html>

日時：2006 年 12 月 12 日（火）12:45～16:10

2006 年 12 月 19 日（火）12:45～16:10

※両方の日を出席しない場合には、修了証は発行されません。

会場：武蔵野大学（教室は調整中）

費用：：一般参加者 7000 円（テキスト代、受講料等を含む）

本学学生 4000 円（テキスト代、受講料等を含む）

修了証を希望しない参加希望者 500 円

講師：井東 敬子先生（リードクライム株式会社 代表取締役）

ホールアース自然学校、愛・地球博「森の自然学校・里の自然学校」

チーフインタープリター経験を経て、2006 年 2 月、環境をテーマとした

リードクライム株式会社を設立し、現在に至る。

講師の井東敬子さんは、最近、環境教育系の会社を起業されており、そのあたりの話も、次代の持続可能な社会を担う学生諸君にとって勉強になると思います。

リードクライム株式会社 <http://www.leadclimb.co.jp/>

「私たちが会社を設立した理由」←とても共感します！

私たちは、現在の社会に必要な「環境コミュニケーション」や「環境教育」など、環境をテーマにしたさまざまな取り組みをビジネスとして成立させ、新しい仕事と雇用を創造し、次世代の働きかたと暮らしかたのモデルになりたいと考えています。そして、この仕事を通して日本を持続可能な社会に変えていくことができると確信を持っています。

また、私たち自身も持続可能な「働くかた・暮らしかた」を実践することを大切にしていきます。それが私たちの豊かさの基準であり、自らが豊かに暮らすことで、豊かな社会の仕組みづくりを進められると思っています。

リードクライムは設立したばかりの会社ですが、「環境コミュニケーション」や「環境教育」など、環境をテーマにしたさまざまな取り組みの企画から運営においては日本最高の実力を持った専門企業であると自負しております。

私たちは、地球環境に対し社会的責任を果たそうとする企業・行政・市民とパートナーシップを組み、人々の経済活動が、持続可能な社会に貢献するしくみづくりを行っていきたくと考えております。

そして、人だけでなく地球上のすべての生きものが Peaceful に生きられる社会をめざします。

■参加申込&問い合わせ先

武蔵野大学 環境学部 環境学科 環境学専攻

村松 陸雄
rikuo@musashino-u.ac.jp

プロジェクトWET

Water Education for Teachers

プロジェクトWETとは？

プロジェクトWETのWETは「Water Education for Teachers：教師のための水に関する教育プロジェクト」の略であり、教育活動を通じて、水や水資源に対する認識・知識・理解を深め責任感を促すことを目標として開発された「水」に関する教育プログラムです。なお、ここでいう教師とは学校の先生に限られません。

教師が一方的に知識を与えるのではなく、子どもたち自身がアクティビティ（活動）を実践しながら、「水」そのものや、その大切さや重要性を考え、学んでいきます。

世界各地に広がるプロジェクトWET

プロジェクトWETは、当初地下水等に関しての共通認識を持つ手段として1984年米国ノースダコタ州立水環境委員会によってつくられました。89年にはモンタナ州ボウズマンのモンタナ州立大学に拠点を移し、現在では水全般に関する教育プログラムとして全米で広く知られています。

また、世界各地からも関心が集まり、96年にはInternational Project WETが確立、現在ではカナダ・メキシコ・フィリピン・パラオ・トーゴなどでもこのプログラムが実施されています。

日本では2004年10月に（財）河川環境管理財団がプロジェクトWETの使用権を取得し、日本での普及・啓発活動を行っています。

プロジェクトWETのアクティビティ

プロジェクトWETのプログラムには、米国内で350人以上の教師・資源管理者・科学者により開発され、600人の教師と35000人の学生たちによってテストされた、「水」に関する91のアクティビティが盛り込まれています。幼稚園児から高校3年生までを対象とし、大小のグループでの学習・体を動かすもの・討論・実験など形式も多様です。（※1）

アクティビティは「プロジェクトWET カリキュラム アンド アクティビティガイド」にまとめられ、エド्यूケーターなどの資格を得た人のみが、ガイドブックを取得しアクティビティを実施することができます。（※2）

※1 アクティビティによって、対象学年や形式は異なります。

※2 プロジェクトWETの著作権は、プロジェクトWETインターナショナル（ProjectWET International Foundation）にあり、日本では（財）河川環境管理財団がプロジェクトWETジャパンの事務局として使用権を得ています。

